

# 令和7年（2025年）度 第1回学校運営協議会



[附属中HP](#)



[附属中Instagram](#)

## 昨年度の学校評価アンケート結果

1. 目指す学校・生徒像、教育目標
2. 生徒の主体性育成（学習面・生活面から）
3. 職員の働きがい改革
4. 大学附属の強みを活かす

# 令和6年(2024年)度 学校評価アンケート結果

# アンケート結果の成果と課題



## 【調査項目】

学習・友人関係・生徒理解・問題対応・環境安全  
主体性育成・情報発信

## 【成果】

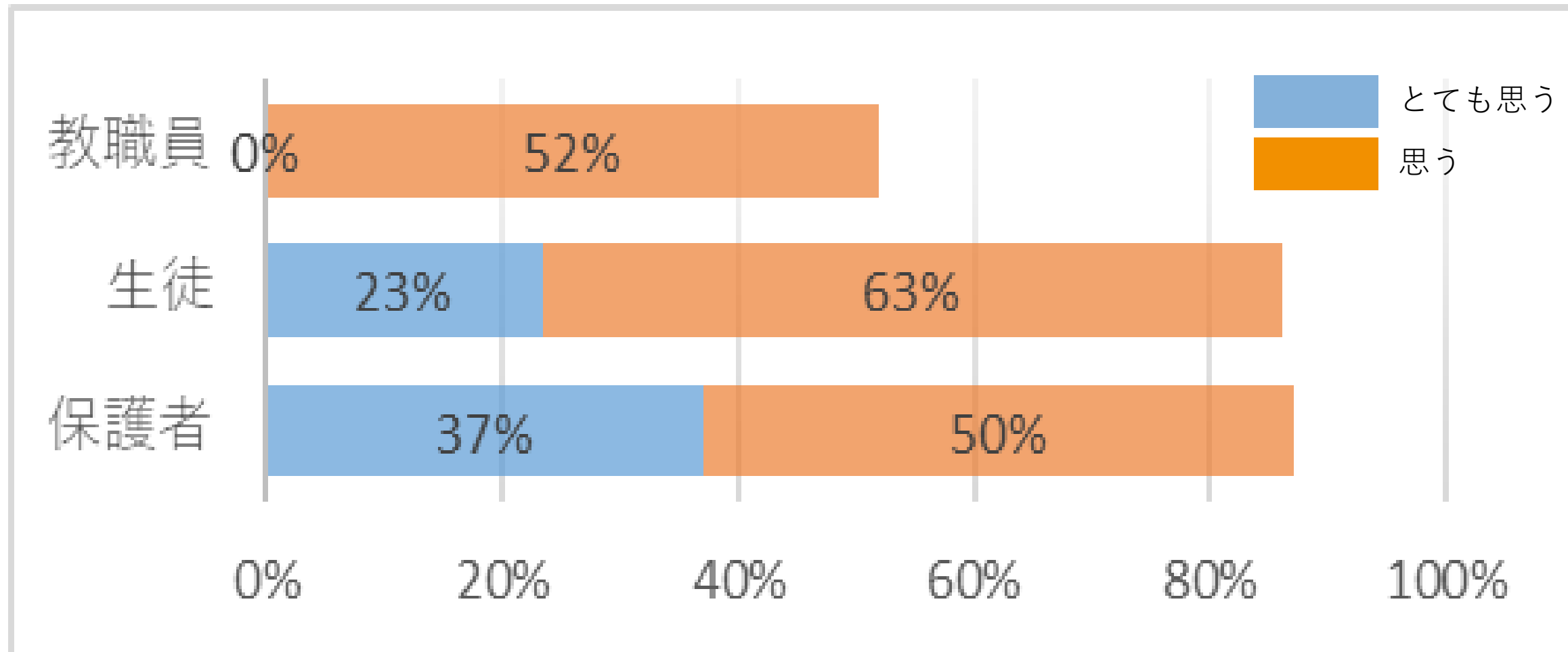
全体的に高い評価

## 【課題】

肯定的評価 100%を目指し、  
一人一人を大切にした指導や支援、対応、取組

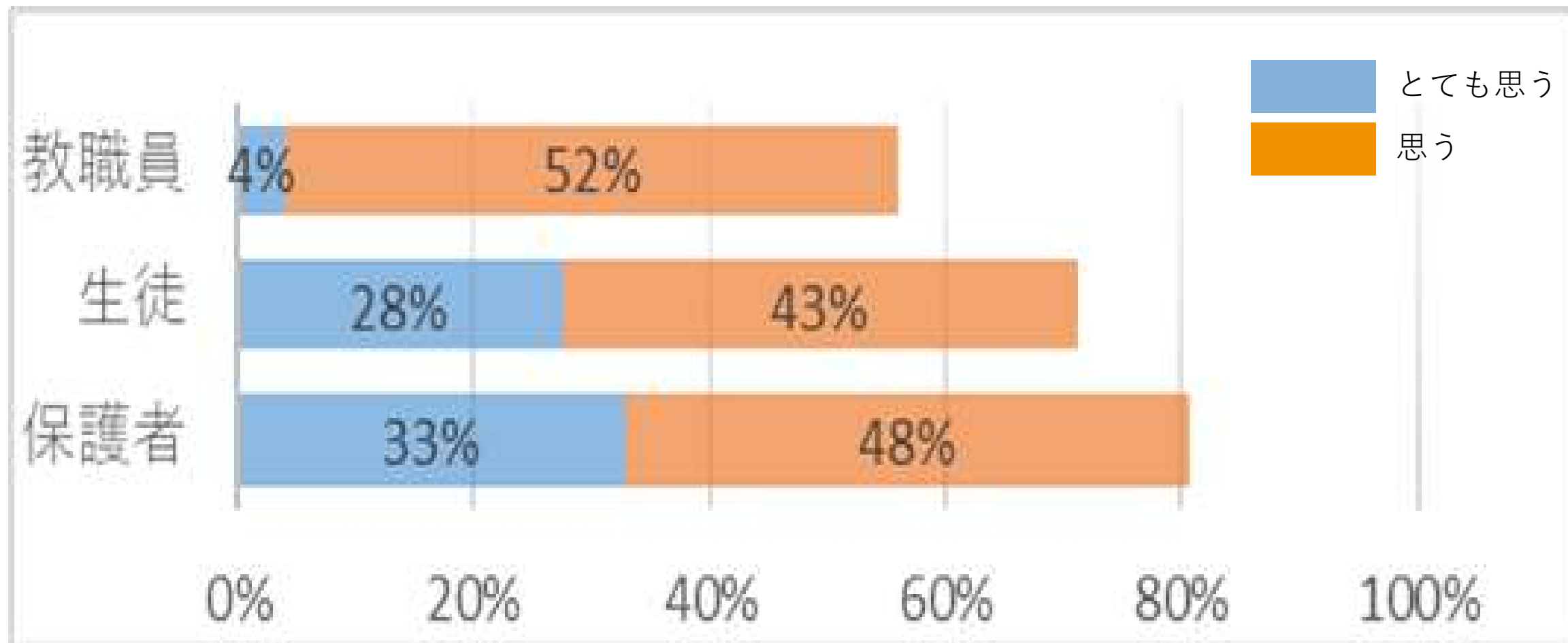
# 1. あいさつ

- ・習慣化するまで日常指導
- ・生徒会や各部活動、有志で「あいさつ運動」



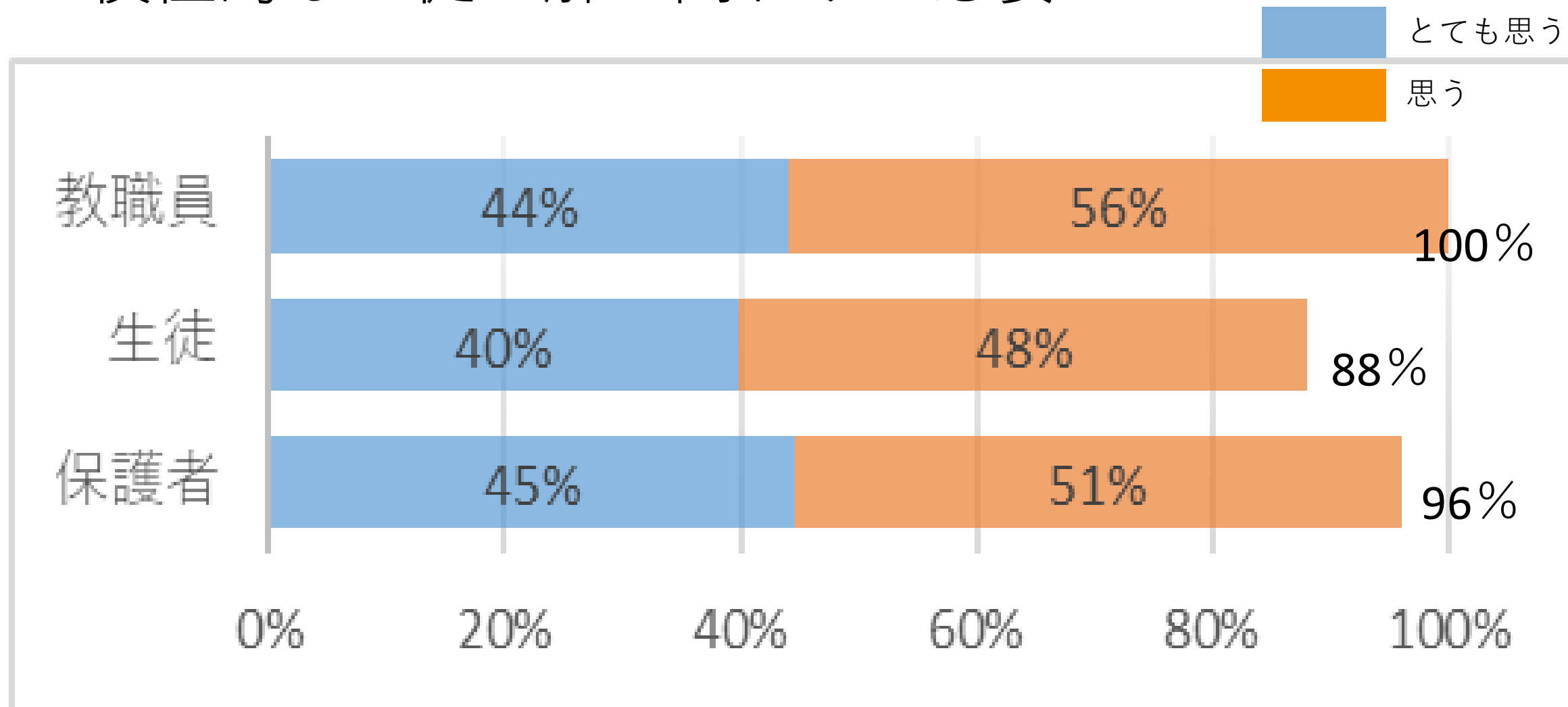
## 2. 生活リズム・健康

- ・ 学習塾・習い事が多数
- ・ 通信や保健だよりで啓発



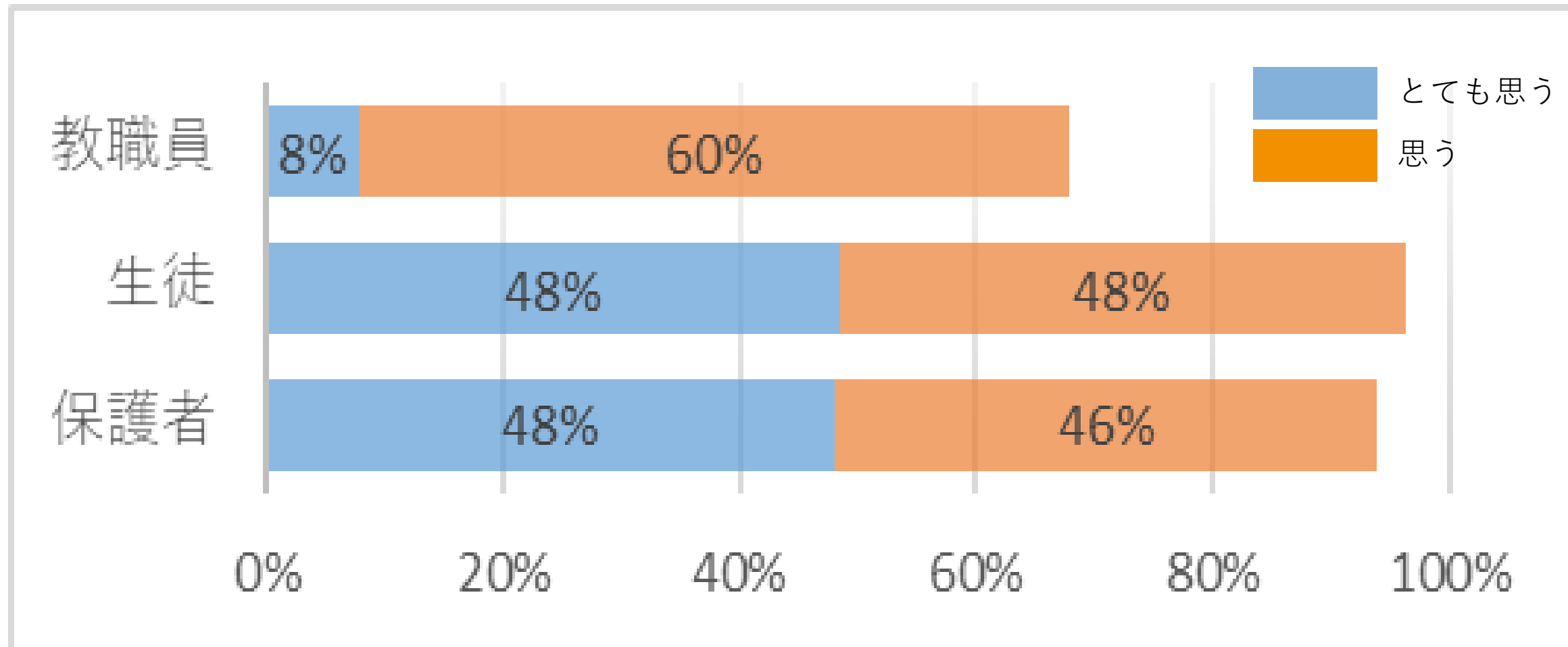
# 6. 生徒理解

- ・教職員100%だが、生徒88%
- ・積極的な生徒理解・関わりが必要



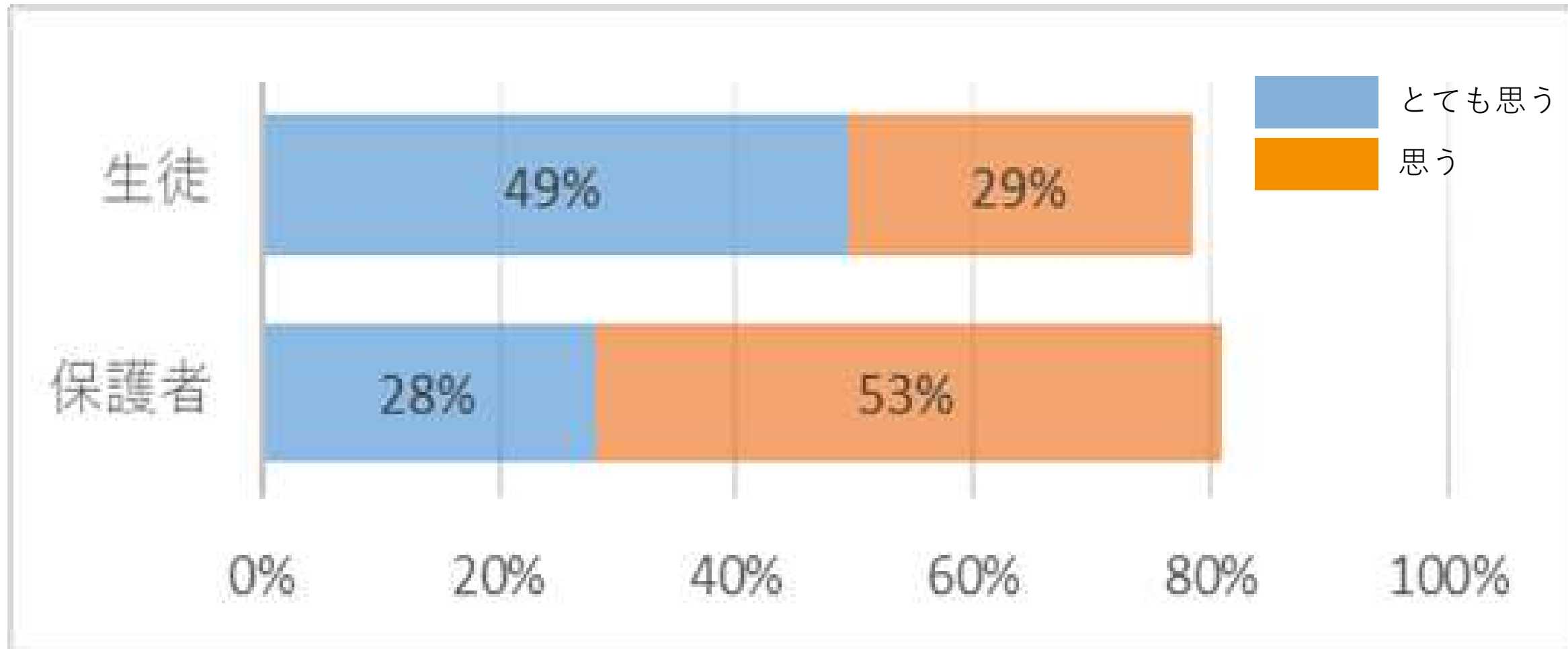
## 8. 規範意識

- ・遅刻、身なり、不要物持込
- ・日常指導、共通実践



# 1 8. 家庭の管理（スマホ等）

- ・ 通信や学級懇談等で啓発



- ・ あいさつ、規範意識の徹底
- ・ 生徒一人一人への理解
- ・ 職員の共通理解と共通実践、協働実践
- ・ 家庭との連携、情報発信

# 1. 目指す学校像・生徒像、教育目標



## 目指す学校像

綱 真実を求めて 響きあえ たくましいからだで  
領 響きあえ 厳しい知性で  
響きあえ 豊かな心で

響きあいの精神のもと

生徒・教職員・保護者が誇りを持てる、これからの時代を担う学校



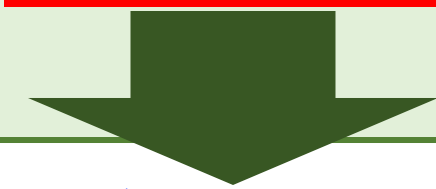
## 学校教育目標

豊かな人生と社会をつくるために、  
自ら考え主体的に行動する生徒の育成

## 3つの重点項目

### 固定観念にとらわれずに

「生徒の自治的活動の充実、学校経営への参画」等の学校運営のしくみも含めて、これからの時代を担う学校教育のかたちを職員自ら提案し、情報共有しながら実践・検証していく。



「個人のやりたい」を  
「**学校のやりたい**」に

**職員が主体的でないと、主体性は育たない**  
→各自が提案しやすい相談体制

① 生徒の**主体性**を  
**育成**できる学びや仕  
組み

② **働きがい改革**  
(ライフワークバラ  
ンス) モデル

③ **大学附属の強み**  
を活かすことができ  
る仕組み

## 2. 生徒の主体性育成



### 重点項目①

生徒の主体性を育成できる  
「学び」や「仕組み」を構築する

生徒の主体性育成の視点から、  
あらゆる場面で、計画段階から  
生徒の出番をつくり、適切な支  
援を行う

授業、特別活動や部活動等、す  
べての学校教育活動で、生徒自  
身が課題意識を持った探究的活  
動を充実させる

# 2. 生徒の主体性育成

## 目指す方向性の共有

### 君たちに期待すること①

豊かな人生と社会をつくる  
ため自ら考え主体的に行動

響きあいの精神

⇒他者意識をもって行動

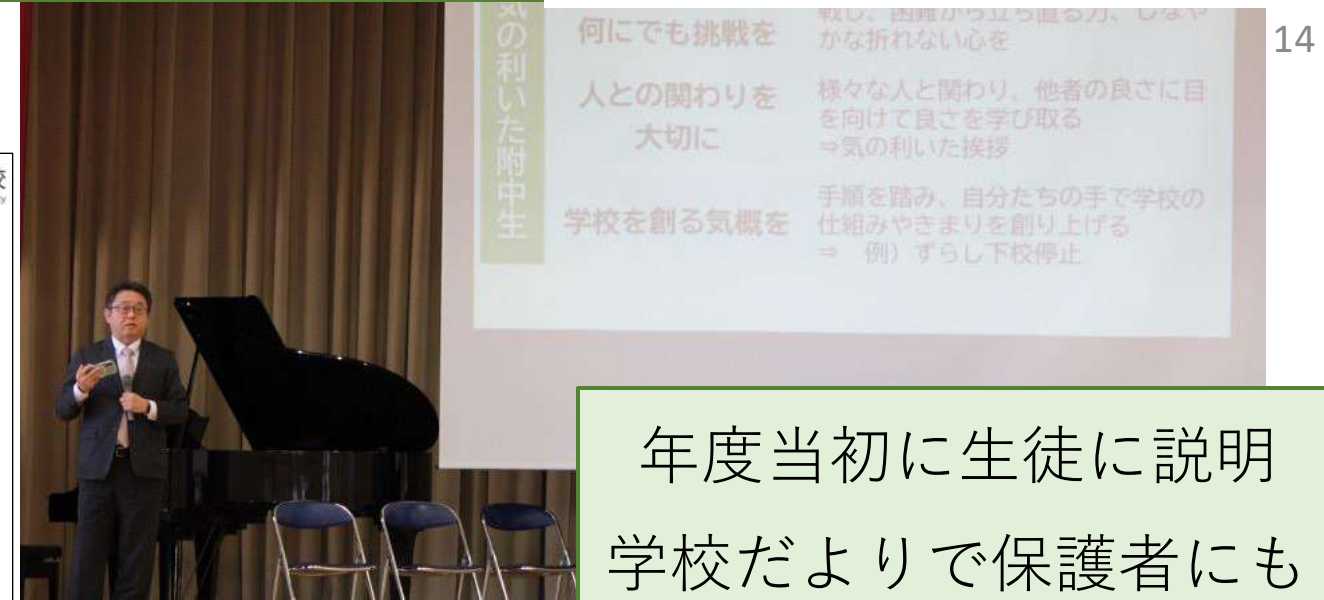
自ら考え主体的に

⇒周囲の状況を適切に判断

気の利いた附中生

響きあいの精神のもと、  
他者意識を持ち、周り  
の状況をよく見て判断  
し、行動できる附中生

職員、生徒、保護者  
全員で目指す学校像を共有



年度当初に生徒に説明  
学校だよりで保護者にも

### 君たちに期待すること②

気の利いた附中生

可能性は無限大  
何にでも挑戦を

可能性を広げるために、何にでも挑  
戦し、困難から立ち直る力、しなや  
かな折れない心を

人との関わりを  
大切に

様々な人と関わり、他者の良さに目  
を向けて良さを学び取る  
⇒気の利いた挨拶

学校を創る気概を

手順を踏み、自分たちの手で学校の  
仕組みやきまりを創り上げる  
⇒ 例) ずらし下校停止

「信頼関係」 共に理想の学校をつくろう

## 2. 生徒の主体性育成



### 主体性育成に向けた具体的取り組み

「**やってみる、やらせてみる**」ことを大切に

実践 → しっかりと振り返る（対話） → 次のよりよい実践

#### 学習面

- ①研究としての取り組み＝自己調整力の育成、対話活動の充実
- ②探究的な学びの充実
- ③学校行事、生徒会活動における生徒企画・運営の充実
- ④生徒も参加する授業研究会「響きあい学習会」
- ⑤生徒と共に行う職員研修

#### 生活面

- ①ルールメイクへの積極的取り組み
- ②「制服の在り方」「学校のきまり」を生徒と共に検討
- ③特別活動に重点をおいた校務分掌

# R6年度研究の概要（研究テーマと手立て）

R6研究テーマ 自他の幸福のために、自ら探究し、行動する生徒の育成  
～学びを発揮する生徒の姿の実現に向けて～



## 自己調整 附中型AARサイクル

教科の見方・考え方を自在に働かせ、自らの力で課題を捉え、吟味する過程（＝見通しの吟味）を重視

教科においては…自己調整のサイクルを自分の力で回し、見方・考え方を働かせながら、問いの発見・吟味ができるようにする。

総合・特活においては…AARサイクルに基づき、探究から実践までを経験する。

## 対話（対話型論証モデルを改良予定）

- ①互いの考えの違いを理解し、納得解を見出す（合意形成型の対話）
- ②自分の考えを批判的に捉え、最適解を見出す（探究型の対話）

教科においては…教科の見方・考え方を働かせるために、対話型論証モデルを活用する。

総合・特活においては…教科での対話をふまえ、自分の力で①・②の対話を行う。



## 附中型対話モデルについて

### 探究型対話モデル



### →「真理探究」に使用

例) 人吉盆地はどのように作られたのか？  
(学問的探究)

例) 相撲でより上手く相手を押すには？  
(技能的探究)

### 【主な活用場面】

・教科の学習 ・道徳 ・総合

### 合意型対話モデル



### →「問題解決」に使用

例) 学級目標・学年目標は何にする？

例) 校則をどう変える？

例) 課活動をどのように再編する？

### 【主な活用場面】

・学活 ・課活動

→場面に応じて使い分けていきたい。

### 熊本大学教育学部附属中学校の取り組み

○R 6年度から、「**総合的な学習の時間**」に力を入れている

○総合的な学習の時間：「**自分の好きなこと×社会**」をコンセプトに、生徒が個人やグループで探究活動を行い、各教科で培った資質・能力を発揮させる時間

○探究テーマの例：どのような掲示板にすれば、街の活性化につながるのだろうか？

どのようにすれば、若い人たちに京町の和菓子の魅力が広がるのだろうか？

#### 2年生探究



#### 3年生探究



## 実行委員会から職員会議へ提案



## 体育大会テーマおよびコンセプト

**体育大会テーマ：一意専心**

**テーマに込めた実行委員の思い：自律**

- ①一致団結すること：自分を律することで周り高めあう
- ②自主的に行動する：自分から広げていく。周りに自分から関わることが大切
- ③自制すること：自分の行動に責任を持つ。周囲の状況に合わせた臨機応変な行動・他者意識

☆附中生みんなが体育大会を通して、先を見据えた行動ができるようになる。

→体育大会が終わってからも体育大会で培ったことを日常生活で続けられることができるよう意識化

## 表現をするならば何をするのか

意見として「ダンス」と「集団行動」があがったので、コンセプトに沿って比較

### 《ダンス》

#### 【良いところ】

- ・個人練習ができる→練習がしやすい
- ・個性を表現できる

#### 【問題点】

- ・個人が全体にあまり影響しない
- ・一致団結の要素が少ない
- ・個人での練習となるので自律や協力する場面が少ない

### 《集団行動》

#### 【良いところ】

- ・個人が集団に影響→責任感・自律
- ・個人の自律的な努力が集団の成果につながり、一致団結が個々を高める
- ・個人の成長と集団の調和の実現

#### 【問題点】

- ・練習時間が短い
- ・横から全体が見にくく伝わりづらい

→体育大会のコンセプトに合わせると『集団行動』が良いのではないか

## 今後の見通し

集団行動の問題点を改善するために

### 1. 練習時間が足りない

→各クラスで縦割りリーダーを決め、「共通の目標」と練習の見通しを立てて効率よく練習を進める

→個人の動きは簡単なもので練習時間外で覚えてもらえるようにまとめる（例プリントに個人の動きと全体の動きをイラストにする）

### 2. 観覧者から、横からだと全体の動きが見えない

→ウェーブなど立体的な動きを取り入れる

→プログラムにQRコードを付け、校舎の上から動画を配信する

# ④ 生徒も参加する授業研究会「響きあい学習会」



熊本大学教育学部附属中学校  
Junior High School Attached to Faculty Education, Kumamoto University



## 響きあい学習会とは

①代表クラスの研究授業を参観し、学習リーダー会での話し合いを通して学校全体の現状（課題、良さ）を見つける。

②それを会員がクラスに持ち帰り反映させることを目的とする。

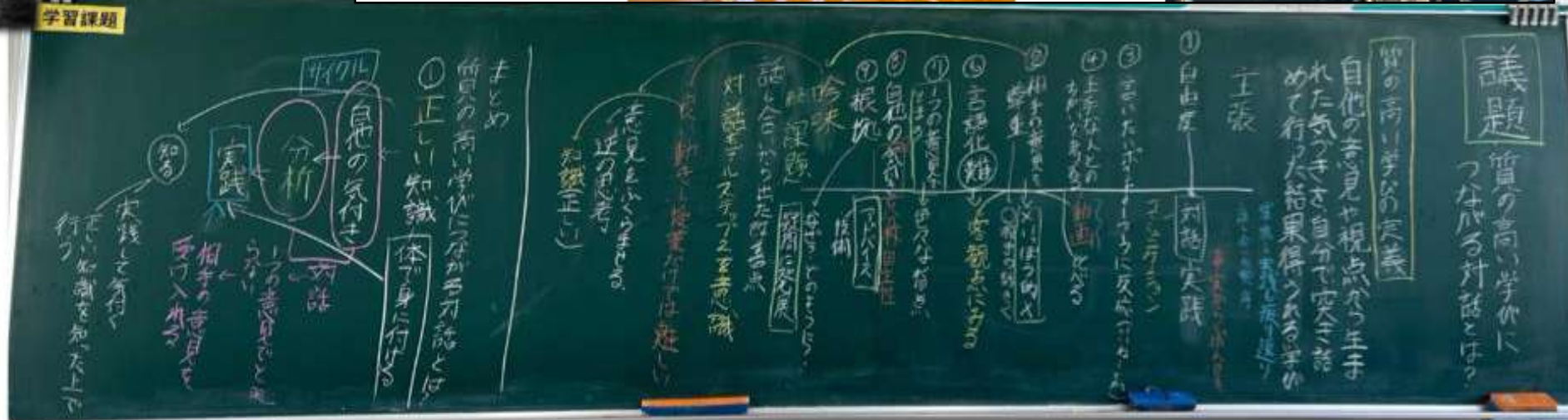
①の様子→



②の  
様子→



学習課題



# ⑤ 生徒と共に校内研修



熊本大学教育学部附属中学校  
Junior High School Attached to Faculty Education, Kumamoto University

## 生徒参加型の校内研修～生徒共に本質観取～

### R5年度の課題

課活動のあり方について協議がされてきたが、生徒と教師の認識にズレがあり、うまく話し合いが進まない

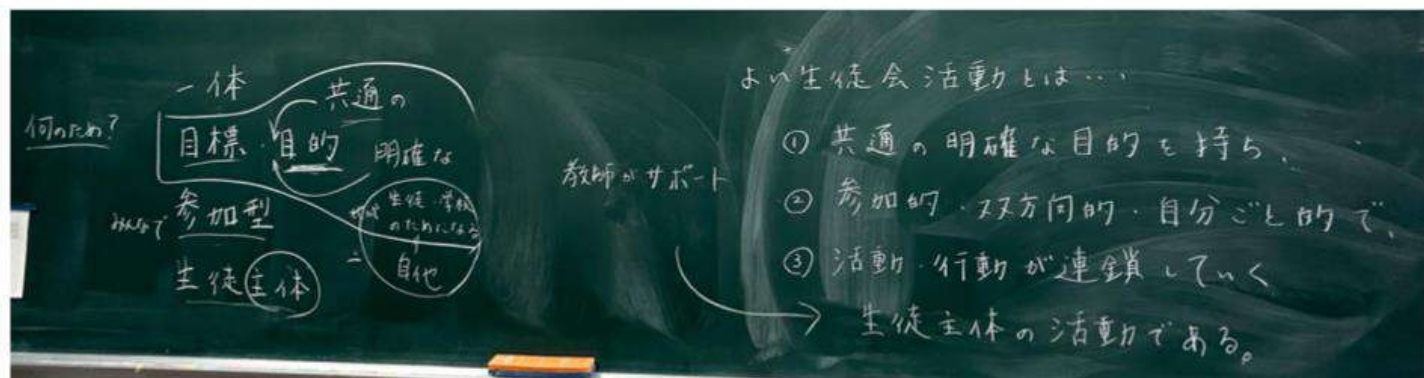
生徒と教師が対等な立場で話し合い、合意形成する場の必要性

「より良い生徒会活動とは」をテーマとして、生徒を交えて本質観取を行った。

(2025年1月28日)



## 本質観取を終えて～合意形成した結論～



↑ 生徒と教師の話し合いによってまとまったよい生徒会活動の要素

この姿を目指して課活動のあり方について生徒会で話し合いが進んでいく

## 2. 生徒の主体性育成



### 主体性育成に向けた具体的取り組み

「**やってみる、やらせてみる**」ことを大切に

実践 → しっかりと振り返る（対話） → 次のよりよい実践

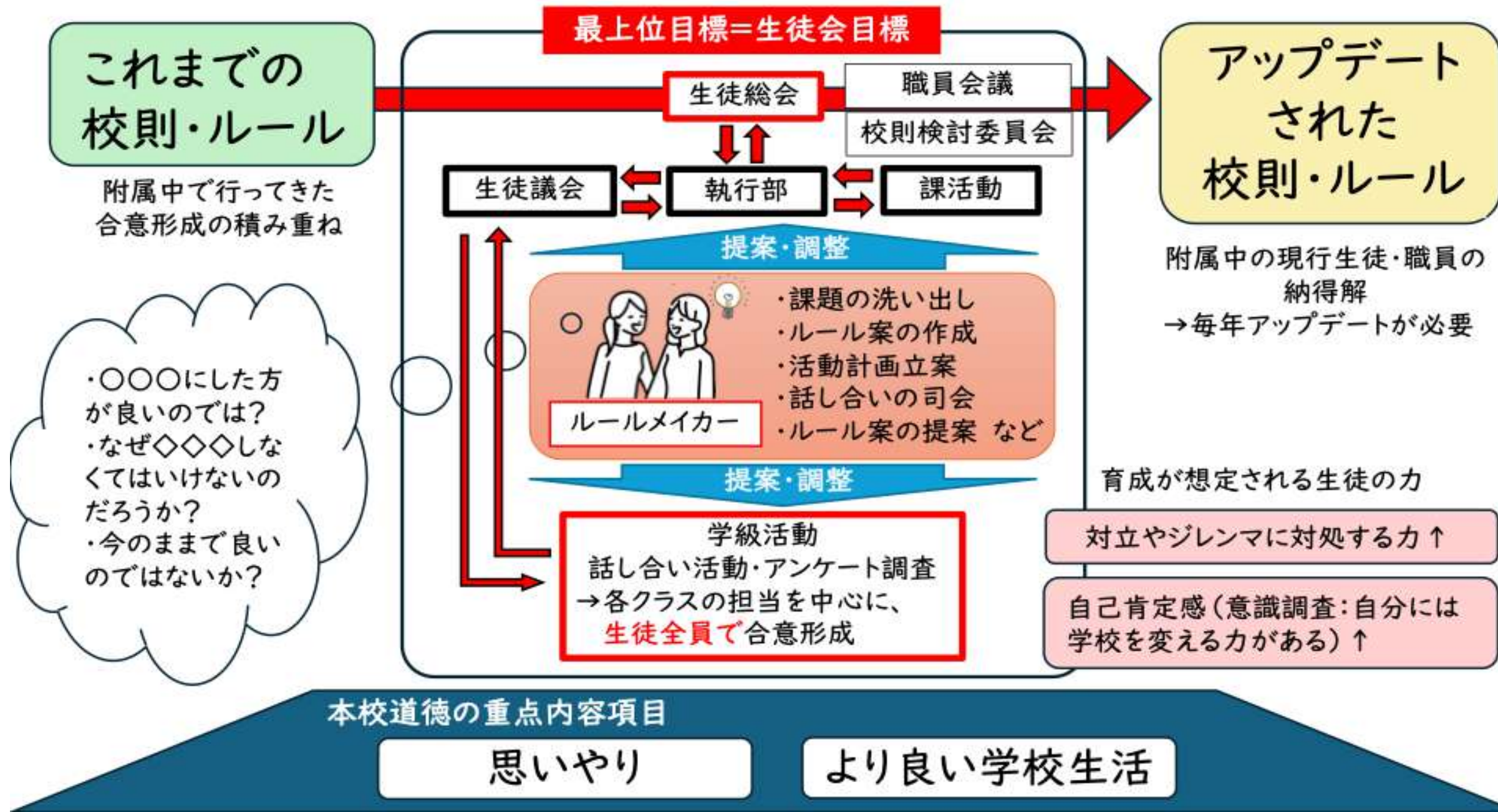
#### 学習面

- ①研究としての取り組み＝自己調整力の育成、対話活動の充実
- ②探究的な学びの充実
- ③学校行事、生徒会活動における生徒企画・運営の充実
- ④生徒も参加する授業研究会「響きあい学習会」
- ⑤生徒と共に行う職員研修

#### 生活面

- ①ルールメイクへの積極的取り組み
- ②「制服の在り方」「学校のきまり」を生徒と共に検討
- ③特別活動に重点をおいた校務分掌

# ① ルールメイクへの積極的取り組み



# ②「制服の在り方」を生徒と共に検討



## 校則検討委員会



校則見直しについて、生徒代表・保護者代表・教員代表が議論。全校生徒アンケートや生徒総会、クラスでの話し合いを経て、校長への具申を作成。

## 校則検討委員会



現在は、制服の在り方について検討中。今年度中に意見を取りまとめ、校長に具申。

## 全校道徳での制服についての対話活動



今回皆さんに学級で考え、話しあってほしいこと。

○R9年国際コースの開始も見据えながら、実際に、選択の幅を広げるとなると、前回の全校道徳の意見も踏まえて今後の熊大附属中学校では、制服はあった方がよいか。無くてよいか。

|                                                                       |                                                                                                                                               |                                                                                                                    |                                                                                                                                              |
|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>制服あり<br>・統一感<br>・仲間意識<br>・制服は高い(コスト)<br>・基準が曖昧<br>・いじめのもと<br>・大変 | 2<br>制服なし<br>・ルールが守れなくなる<br>・制服代どうする<br>・おしやれはどきどき<br>・直接に行けない<br>・ほとんどの学校が制服<br>・統一性がない<br>・私服あり<br>・自己表現できる<br>・服の質を上げ方を学べる<br>・あんなにいい服はない  | 3<br>制服あり<br>・統一感<br>・仲間意識<br>・制服は高い(コスト)<br>・基準が曖昧<br>・いじめのもと<br>・大変                                              | 4<br>制服なし<br>・ルールが守れなくなる<br>・制服代どうする<br>・おしやれはどきどき<br>・直接に行けない<br>・ほとんどの学校が制服<br>・統一性がない<br>・私服あり<br>・自己表現できる<br>・服の質を上げ方を学べる<br>・あんなにいい服はない |
| 5<br>制服あり<br>・統一感<br>・仲間意識<br>・制服は高い(コスト)<br>・基準が曖昧<br>・いじめのもと<br>・大変 | 6<br>制服なし<br>・ルールが守れなくなる<br>・制服代どうする<br>・おしやれはどきどき<br>・直接に行けない<br>・ほとんどの学校が制服<br>・統一性がない<br>・私服あり<br>・自己表現できる<br>・服の質を上げ方を学べる<br>・あんなにいい服はない  | 7<br>制服あり<br>・統一感<br>・仲間意識<br>・制服は高い(コスト)<br>・基準が曖昧<br>・いじめのもと<br>・大変                                              | 8<br>制服なし<br>・ルールが守れなくなる<br>・制服代どうする<br>・おしやれはどきどき<br>・直接に行けない<br>・ほとんどの学校が制服<br>・統一性がない<br>・私服あり<br>・自己表現できる<br>・服の質を上げ方を学べる<br>・あんなにいい服はない |
| 9<br>制服あり<br>・統一感<br>・仲間意識<br>・制服は高い(コスト)<br>・基準が曖昧<br>・いじめのもと<br>・大変 | 10<br>制服なし<br>・ルールが守れなくなる<br>・制服代どうする<br>・おしやれはどきどき<br>・直接に行けない<br>・ほとんどの学校が制服<br>・統一性がない<br>・私服あり<br>・自己表現できる<br>・服の質を上げ方を学べる<br>・あんなにいい服はない | 11<br>遅くなってしまいすみません。<br>制服派の意見<br>・集団意識→日本の文化<br>・バザーなどが多くおこなわれる<br>・附属では安く買えるのでは?<br>・塾に行っている人も多いので、制服に着替える必要がある。 | 12<br>遅くなってしまいすみません。<br>制服派の意見<br>・集団意識→日本の文化<br>・バザーなどが多くおこなわれる<br>・附属では安く買えるのでは?<br>・塾に行っている人も多いので、制服に着替える必要がある。                           |

# ②「制服の在り方」を生徒と共に検討



熊本大学教育学部附属中学校  
Junior High School Attached to Faculty Education, Kumamoto University

生徒アンケート、全校での話し合い  
校則検討委員会、全校国語などの検討を受けて

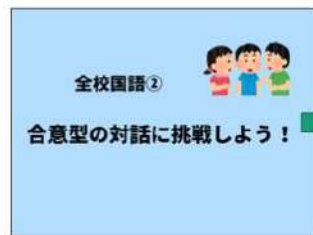
R6附中私服ウィーク

期間：11月18日（月）～ 22日（金）  
の5日間で実施

※5日間の中で、  
**18日月曜と22日金曜日は制服か私服をどちらか  
選び、着てから登校する。**  
**19日から21日の火、水、木曜日3日間は全員  
が私服を着てから登校する。**

何度も対話し、実際に  
やってみることで、**他人  
事から自分事**になる

## 全校国語の実施



合意型の対話に挑戦しよう！

【議題】  
**私服ウィーク（私服を体験する5日間）  
をどのように実施したら良いか？**

【目的】  
実際に私服で登校してみることで、  
**その良さや課題点に気づき、制服と  
の比較を行いやすくすること。**  
この【目的】を達成することが大事！



→校則検討委員会で、  
**「制服の見直し」が議  
題に挙げられているた  
め。**  
**私服賛成派VS反対  
派の合意形成を狙った。**

全校国語 9/5

合意型の対話に挑戦しよう！

出席番号( ) 氏名( )

10月30日(木)の4時間目は、全校国語の時間です。最初は「深層型」の話し合いをしてみたいと思いますが、今回は「合意型対話モデル」を使った対話を体験してみたいです。「合意型」は、話し合いを通して互いの考えを一致させるということです。今回は、全校生徒で「合意型対話」について話し合いを行います。

議題：私服ウィーク（私服を体験する5日間）をどのように実施したら良いか？

【目的】  
実際に私服で登校してみることで、その良さや課題点に気づき、制服との比較を行いやすくすること。

この目的が達成されれば、私服ウィークを行う意味があります。これを踏まえて、あなたの考えを明らかにし、話し合ってください。

自分の主張

相手の主張

合意形成

合意形成とは、互いの考えを一致させることです。話し合いを通して、互いの考えを一致させることが目的です。

合意形成の過程

合意形成の結果

合意形成の振り返り

## 全校国語の実施

→各クラスの意見をもとに、生活向上課が最終決定。  
**「一週間のうち、月曜日と金曜日は私服or制服の選択制。火曜日から木曜日は全員私服を着る。」**



## ②「学校のきまり」を生徒と共に検討



熊本大学教育学部附属中学校  
Junior High School Attached to Faculty Education, Kumamoto University

ずらし下校の見直し

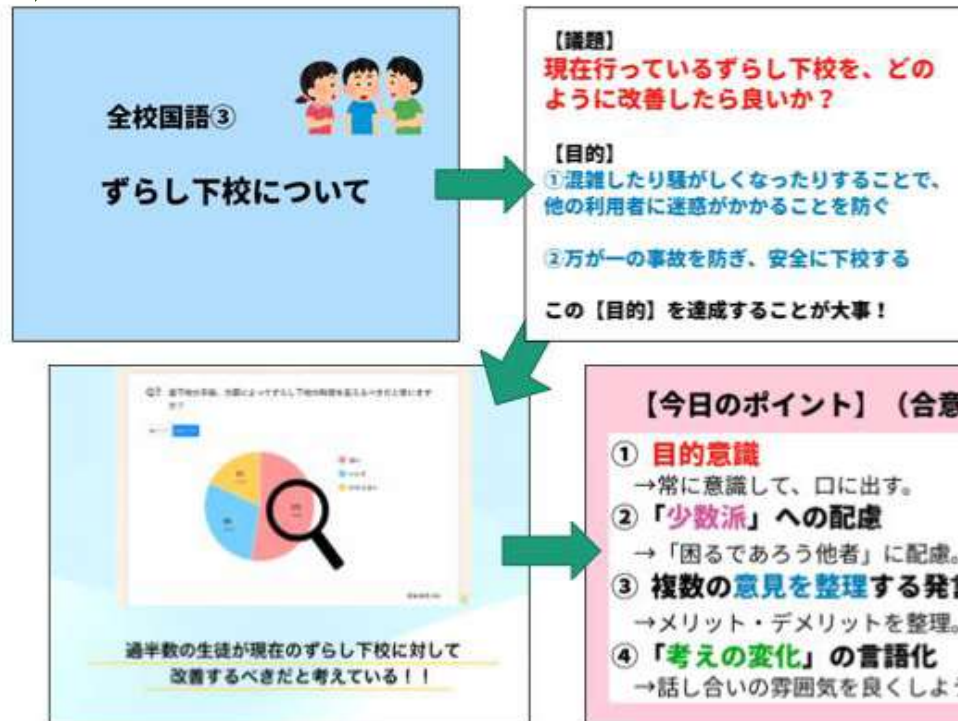
## 全校国語の実施

### 生徒とのランチミーティング

熊本大学教育学部附属中学校  
Junior High School Attached to Faculty Education, Kumamoto University



月に数回、各種リーダーと意見交換したり、校長の思いを伝えたり。

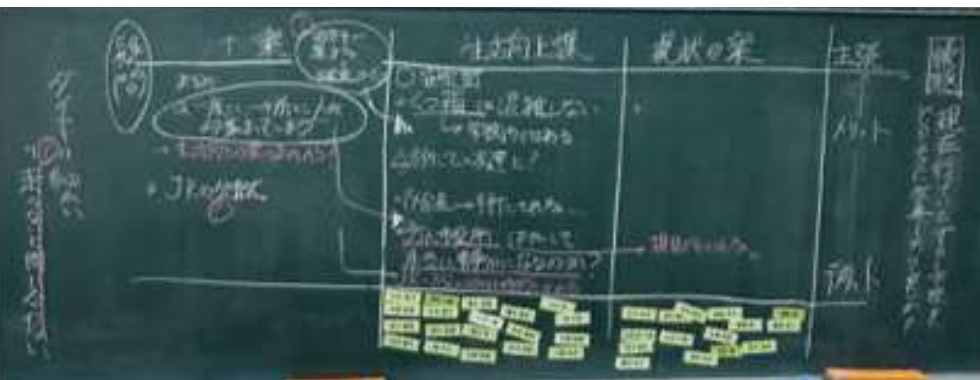


※「ずらし下校」とは…

本校の特性上、全校生徒が一斉に下校すると、バス停や駅が混雑し、迷惑をかけてしまう。そのため、学年ごとに時間をずらして下校している。



→生活向上課の案を、**全校生徒で検討した。**



→各クラスから出た案を、いくつか試験的に実行。

- ・生活向上課の案（バスや電車のダイヤに合わせる）
- ・1年1組の案（一斉下校し、意識の向上を図る）

結果、1年1組の案が採用された。



### ③ 特別活動に重点をおいた校務分掌

特別活動部人員増。特活部長は他部との調整役。

|        |     |                                                                         |
|--------|-----|-------------------------------------------------------------------------|
| 研究部    | 甲斐  | 1松岡・1岩下・2赤星征・2藤本・3福田 …財部、立川                                             |
|        | ICT | 1竹財・2赤星征・3甲斐                                                            |
| 教育実習部  | 末藤  | 1竹財・赤星愛・2長浦・3藤田・松島（養護）                                                  |
| 生徒指導部  | 長浦  | 1財部 3甲斐 松島（教育相談）                                                        |
| 健康教育部  | 松島  | 保健指導——松島 1赤星愛 2長浦 3福田 各学年から<br>学校体育——福田 長浦<br>食育——藤田<br>安全・防災——竹財・長浦・富永 |
| 総合的な学習 | 立川  | 岩下 赤星征 各学年主任                                                            |
| キャリア教育 | 野口  | 赤星愛                                                                     |
| 特別活動部  | 財部  | 生徒会——3船山 2大野 1松岡<br>生徒集会——船山・大野・松岡<br>学級活動——3船山 2大野 1松岡                 |

課活動

|       |       |       |        |
|-------|-------|-------|--------|
| 生徒会三役 | 財部・船山 | 放送企画  | 藤本幸    |
| 総代会   | 大野・松岡 | 図書教養  | 岩下（今村） |
| 生活向上  | 長浦    | 新聞広報  | 赤星征    |
| 整美環境  | 野口    | 統計調査  | 末藤     |
| 文化伝統  | 米満    | 交流推進  | 赤星愛    |
| 体育健康  | 福田    | 緑化推進  | 益田     |
| 保健衛生  | 松島・田中 | 学習リダー | 甲斐     |
| 食育栄養  | 藤田    | 情報発信  | 富永     |
| 社会探究  | 山本・立川 | 設備充実  | 竹財     |

ルールメイキング  
担当も兼務

#### 特活部から職員へのTeams連絡（R7.4.22）

##### 【特活部】生徒総会に向けての連絡—各課の予算立てについて—

6月に行われる生徒総会に向けて、執行部の生徒と準備をしています。  
内容の1つとして、各課に割り振られている予算1万円を、生徒会活動振興のためにどう使うのかという計画を各課長が提案することを考えています。  
そのことで、今後各課長が担当の先生方へ相談に伺います。  
予算の用途がすでに決まっている課もあると思います。その場合はその用途を総会にて提案していただければ大丈夫です。  
ご多忙の中お手数おかけしますが、よろしくお願いします。

##### 【特活部】1学期のルールメイキング活動について

今週の木曜日より、ルールメイキングのランチミーティングを行います。  
それに伴い、昨年度の積み残しである調節着について、1学期のできるだけ早い段階で先生方へ改めて提案をさせていただきたいと考えています。  
2・3年生に現段階でルールメイキング担当生徒がまとめたものをアンケート形式で生徒に意向調査しています。お知らせください。  
このアンケート結果をもとにランチミーティングでルールメイキング担当生徒と話し合いを行い、最終的には改めて先生方へご提案させていただきます。



財部 裕一郎 11:25

以下、提案内容です。

「調節着の色は、黒、紺、灰色など、落ち着いた色とする。ただし、白など明るい色のものは着用しない」  
→ふさわしい色として黒、紺、灰が挙がったため、落ち着いた色としてまとめた。白も候補に挙がったが、落ち着いた色と混ざると制服としての統一感がなくなってしまうので除外した

「調節着としてカーディガン、セーター、ベストを着用できる。パーカーは着用しない」

→パーカーの機能は防寒着で代用できるから

## 重点項目②

28

教職員のやる気とやりがいを高める

働きがい改革(ライフワークバランス)モデルを構築する

校務のD X化、及び勤務時間の適正化をさらに推進する

不要な業務の見直しを行い、業務内容削減を推進する

部活動地域移行に向けたモデル実施や活動時間縮小を推進する

① 勤務時間の適正管理

行政の勤務時間管理法を導入

○時間外勤務増を助長する申請は認めない。

○右【表1】における本務の優先順位に則って時間外勤務を認める。

○優先順位に沿わない時間外勤務申請は認めない。（例：部活動指導の時間外申請の後で、教科会を実施×）

○居残り勤務だけでなく、早出勤務による時間外勤務申請も認める。その場合は、表1中「優先順位3※」の業務による居残り勤務申請を認めない。

2 時間外勤務について

(1) 必要性がある場合、校長は当該職員の事情に配慮し、時間外労働を命ずる。

(2) 職員が時間外に「本務」に従事する必要がある場合は、事前に時間外勤務申請を行う。申請を受け、校長が必要性を認めた場合、校長が時間外労働を命ずる。

(3) 時間外労働の限度を以下の通りとし、これを超える時間外労働は認めない。

① 1日5時間

② 1ヶ月（月の初日から末日まで）42時間

③ 1年（4月から翌年の3月まで）320時間

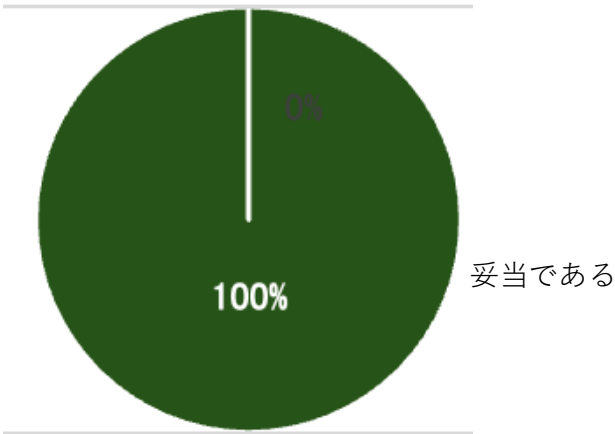
(4) 本務の内容は、表1【時間外における「本務」該当性の整理】の通りとする。

表1【時間外における「本務」該当性の整理】

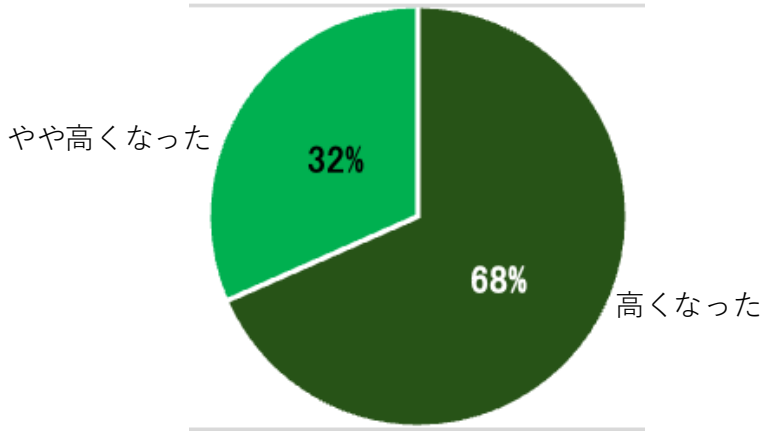
| 本務の是非 | 優先順位                                                    | 主な業務内容                                                 |
|-------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 本務である | 1                                                       | 生徒指導、保護者対応、その他管理職の指示による業務                              |
|       | 2                                                       | 入学者選考に関わる業務、教育実習指導、校内研究打合せ<br>各部打合せ、学年会、学校行事等の企画・立案・準備 |
|       | 3 ※                                                     | 授業準備、定期テスト作成・採点、成績処理                                   |
|       | 4                                                       | 部活動指導                                                  |
| 本務でない | 自己啓発的な研究・情報収集、教科研究会の事務・研究活動<br>自主研究会等への参加・講話、任意参加のPTA活動 |                                                        |



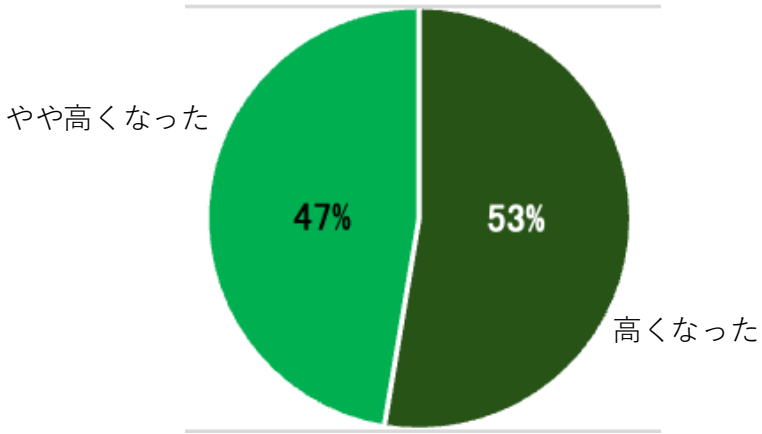
1 業務内容を「本務である」「本務でない」と区分して、時間外勤務申請に反映させていますが、このやり方や区分は妥当だと思いますか。



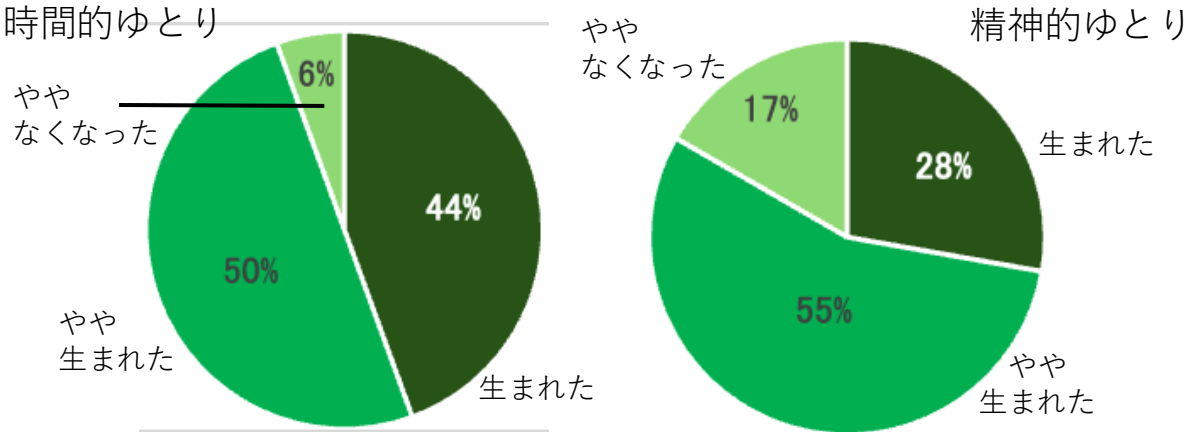
2 勤務時間管理のやり方を変えたことで、あなた自身の「勤務時間管理に関する意識」の変化として、最も近いのはどれですか。



3 勤務時間管理のやり方を変えたことで、あなた自身の「業務へのやる気」の変化として、最も近いのはどれですか。



4 勤務時間管理のやり方を変えたことで、あなた自身の「時間的ゆとり」「精神的ゆとり」の変化として、最も近いのはどれですか。



## 「勤務時間管理に関する意識」

・勤務終了時間をより意識するようになった。

- ・勤務中はできるだけ、無駄な時間を作らないように意識した。
- ・優先順位をつけ、やるべき仕事の時間を考えて計画的に仕事をするようになった。
- ・時間外でお金が発生するので、説明責任が果たせるように留意して働くようになった。

## 「業務へのやる気」

・給与が発生しているので頑張ろうと思うようになった。

- ・やりがいと報酬。もっともっと生徒のために学校のために、頑張れるようになった。
- ・手当が付くことでモチベーションが上がった。がんばっていることを認められていると感じる。
- ・時間外手当が出る分、より責任をもってやらねばという意識が芽生える

## 「時間的・精神的ゆとり」

・家庭と仕事を両立させていくために考えるようになった。

- ・間内に終わらせなければという思いもあるが、どっちにしろ終わらないという諦めもある。
- ・仕事量は変わっていないため、ゆとりは変わっていない

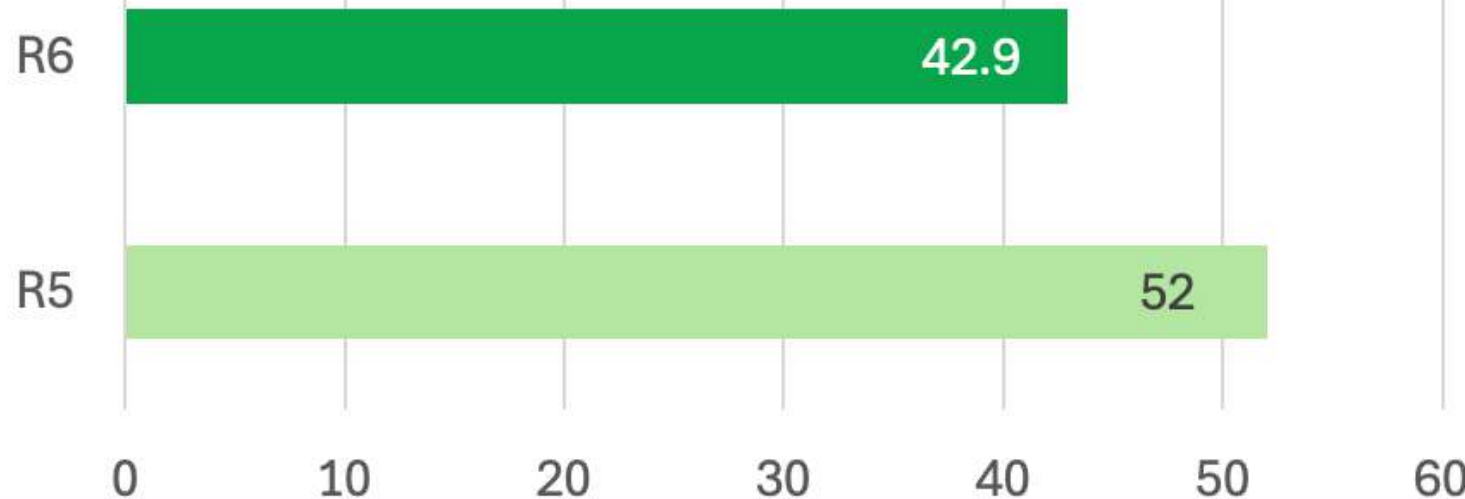
# R5、R6 月別の勤務時間外在校平均時間の比較



令和 6 年度在籍全職員



令和 5・6 年度在籍職員



## 職員の意見・感想

32

- ・私たちの仕事を、価値のあるものとして評価してもらったと思いありがたい。
- ・めちゃくちゃ働きやすくなって、とてもありがたい。
- ・子育て世代からすると、朝からの時間外を認められたことがありがたい。
- ・一度染み付いてしまった習慣や意識を変えることは大変だと思っていたが、その気になれば、すんなり変えられるものだとわかった。この年齢でも変化できることが嬉しくもある。

# 3. 職員の働きがい改革



## ② 部活動の地域移行に向けて

同窓会への部活動見直し説明資料（一部抜粋）

### 令和9年度までに地域移行

部活動検討委員会で  
方向性を検討

- 令和7年度から、縮小に向けた取組（練習日週4日へ）
- 今後、部活動から、外部指導者を核とした「熊大附属中クラブ（仮称）」に移行。
- 指導者への報酬は、協賛企業からの協賛金も検討
- 可能な限り、生徒が主体的に活動できる仕組みも合わせて検討。

### 05 部活動への協賛企業 募集への協力

市中体連大会  
ラグビー部



#### 熊本大学教育学部附属中学校の取り組み

今後、部活動から外部指導者による  
地域クラブへの完全移行へ

- 外部指導者を各部活動の保護者会を中心に探す
- 外部指導者の報酬は、受益者負担、大学、協賛企業等の3種でまかなうことを想定
- ラグビー部は令和7年度からモデル実施
  - ・長年指導している、外部コーチを中心とした体制へ
  - ・保護者会も積極的に協力し、保護者とOBを中心としたNPO法人設立へ
  - ・保護者会で協賛企業も積極的に開拓中
- 今後、ラグビー部のモデルケースを参考にしながら、他の部活動へ横展開

- モデルケースとして、令和7年度中にラグビー部でNPO法人を立ち上げ、地域移行へ。
- 外部指導者を見つけた部活動もNPO法人に加入していく。
- 同窓会にも、協賛企業開拓等への協力を依頼。

## 重点項目③

### 「熊本大学附属」の強みを フルに活かすことができる仕組みを構築する

熊本大学職員の本校教育への参画を推進すると共に、生徒が大学で学ぶ機会を増やす

同窓会の人材による本校教育への支援を推進し、生徒が社会から学ぶことができる支援体制を構築する

国際クラス設置に向けて、一般クラスとの相乗・協働効果を高める、カリキュラムの在り方を検討する

# 4. 大学附属の強みを活かす



## ① 大学や企業との連携

### 大学での探究学習



大学での探究学習



何人もの生徒が学長に質問

学長・副学長講話

より多くの外部人材に関わってもらう

生徒・保護者への指導

- ・ 同窓会の方々
- ・ チャリチャリ
- ・ ベネッセ
- ・ monopo
- ・ モチベーションアカデミア

職員研修への協力

- ・ リンク & モチベーション
- ・ ベネッセ
- ・ 熊本大学教授、職員
- ・ 他大学教授
- ・ 私立高校教諭

特に企業との連携に重点

# 4. 大学附属の強みを活かす



## ① 大学や企業との連携

### 校内研修の講師

36



他校や企業の講師等  
外部の方を活用



# 4. 大学附属の強みを活かす

## ② 同窓会による支援体制

# 志高く

## 令和7年(2025年)度 学校だより

5月22日号 文責 松島孝司



熊本大学教育学部附属中学校  
Junior High School Attached to Faculty Education, Kumamoto University

### 職業人と語る会

5月21日に、27人の講師をお招きして、2、3年生合同で「職業人と語る会」を行いました。総合的な学習の時間のスタートにあたり「様々な職種の職業人と語り合い、仕事や研究内容、社会にある問題について学ぶことを通して、より良い社会となるような課題を設定」することがねらいの会です。

校長としては、常日頃から「ホンモノに触れさせる」ことが大事だと考えています。今回は、まさにそれを体現する機会だったといえます。これだけ多くの方を講師としてお迎えして、生徒が直接話を聞ける機会は、講師の皆様のご協力なしには実現できませんが、今後

も続けていきたいと考えています。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。



ご協力いただいた、講師の皆様(五十音順) 講師の皆様の写真も、左上から五十音順に紹介しています。

|          |                        |          |                          |
|----------|------------------------|----------|--------------------------|
| 荒川 和泉 様  | (株) and action         | 友枝 誠一郎 様 | 認定こども園 誠樹幼稚園             |
| 石原 靖也 様  | 熊本いいくに県民発電所(株)         | 畑 実 様    | 株式会社ティーステップ              |
| 今村 文子 様  | 熊本県ユニセフ協会              | 原田 佳英 様  | 原田写真場                    |
| 世良 喜久子 様 |                        |          |                          |
| 梅崎 宗規 様  | 株式会社フンドーダイ             | 福田 浩一 様  | 株式会社ボイスレジスタ              |
| 大久保 清香 様 |                        |          |                          |
| 桑原 やよい 様 | ユノカフェ                  | 前田 隼人 様  | イオンモール株式会社               |
| 小柳 陽 様   | コストコホールセール熊本御船         | 松岡 翔太 様  | エポレジャパン株式会社              |
| 坂口 領 様   | 株式会社KR                 | 松崎 弘幸 様  | ディーエムプロジェクト(株)           |
| 佐井 善一 様  | 宗教法人 加藤神社              | 光永 祐太 様  | 合同会社 光 KAWACHI BASE-龍栄荘- |
| 澤村 友里 様  | ベトナムトレーディング株式会社        | 山内 浩 様   | 社外取締役 株式会社木村             |
| 白石 尚子 様  | 公益財団法人熊本県雇用環境整備協会      | 山田 誠 様   | ミーリーコレクション熊本             |
| 田中 敦朗 様  | 熊本市議会                  | 吉岡 裕晃 様  | 学校法人常盤学園                 |
| 田中 誠 様   | 有限会社くまもと有機の会           | 吉田 智裕 様  | 一級建築士 元熊本市役所             |
| 谷川 公一 様  | リー・ベリダ クマモト・カザリ・ソウ株式会社 | 吉富 東進 様  | phase株式会社                |
| 東野 孝治 様  | 医療法人清和会水前寺とうや病院        |          |                          |



熊本大学教育学部附属中学校  
Junior High School Attached to Faculty Education, Kumamoto University

37

同窓会による附属中支援

熊本大学教育学部附属中学校  
Junior High School Attached to Faculty Education, Kumamoto University

### 令和7年度実施希望内容について

令和7年(2025年)4月16日 校長 松島孝司

- 01 同窓生による講演「響きあい講演会(仮称)」
- 02 コーディネータ的な部署・人材の設置
- 03 同窓生による「卒業生と語る会」への協力
- 04 同窓生による「職場体験学習」への協力
- 05 部活動への協賛企業募集への協力

熊本大学教育学部附属中学校  
Junior High School Attached to Faculty Education, Kumamoto University

熊本大学教育学部附属中学校の取り組み

「ホンモノに触れる」をコンセプトに  
生徒のキャリアプランを広げさせる

### 01 同窓生による講演 響きあい講演会(仮称)

熊本大学小川学  
長による講演  
(R6/9/20)



○各界で活躍している人材に、生徒への講演、  
これらのキャリア形成に向けてのメッセージ  
をいただく

○熊本大学附属としての強みを活かす  
・第一線で活躍する多くの同窓生に講師となっ  
てもらい、後輩へのメッセージとして、自信  
の中学校時代についても講演してもらう

・熊本大学の学長をはじめ、熊本大学の教授か  
らも支援してもらう

熊本大学教育学部附属中学校  
Junior High School Attached to Faculty Education, Kumamoto University

### 同窓生による講演「響きあい講演会」(仮称) 予定

|                         |                                       |                                                       |
|-------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 附属中同窓会会長<br>石原靖也 氏      | 令和7年5月1日(木)<br>PTA総会の前に<br>附中体育館にて    | 内容<br>「ふるさとづくりについて(仮)」<br>無償                          |
| 特撮研究所<br>特技監督<br>三池敏夫 氏 | 令和7年10月16日(木)<br>附中文化の日<br>県立劇場にて     | 内容<br>「講演とワークショップ」<br>できれば旅費(航空運賃)と謝金を同窓会<br>からお願いしたい |
| 人間国宝能楽師<br>塩津哲生 氏       | 令和8年10月20日(調整中)<br>附中文化の日<br>熊本城ホールにて | 内容<br>「講演と演舞・ワークショップ」<br>できれば無償でお願いしたい                |